

《日本語教室（成人対象）基本情報調査》

（公財）兵庫県国際交流協会

兵庫県では、日本語学習を必要とする外国人県民が身近な生活圏で日常生活に必要な日本語力を身につけられる日本語教育の体制を整備するため、令和元年度より5か年計画で地域日本語教育の総合的な体制づくり事業を行っております。事業開始に先立ち、平成30年に「第1回県内日本語教室に関する基礎調査」を行い、その結果をもとに事業を展開して参りましたが、この度、これまでの事業結果を検証するとともに、県内の日本語教室の課題を共有し、令和6年度以降の事業展開の基点とするために、標記の第2回基礎調査を行うこととしました。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、下記によりご回答賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

【回答方法】

- ◆ 【基本情報シート】と【質問シート】の二つにご回答ください。
今回の調査は、貴団体主催の日本語教室のうち、成人の学習者を主たる対象として活動している教室についてお聞きするものです。
子どもを対象とした活動についての情報は、【基本情報シート（子ども支援）】にご記入ください。
 - ◆ R5年6月末現在の状況について、教室代表者の方または運営に関わる方にご回答をお願いいたします。
 - ◆ 添付のシートにご記入のうえ、Wordデータでメールに添付して令和5年7月28日（金）までにご返信ください。メールでの送信が難しい場合は、お手数ですが印刷してFaxで送信してください。
 - ◆ HIA サイトへの掲載についてもあわせてご確認の上、加筆修正が必要な場合は、ご記入ください。
- ◎ ご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。
兵庫県国際交流協会 多文化共生課 （担当：村上・篠原）
電話：078-230-3261 （9時～17時半 土日祝日を除く）
Fax：078-230-3280
メール：nihongo@net.hyogo-ip.or.jp

【基本情報シート】 成人の学習者を主たる対象として活動している教室について

※R5年6月末現在の状況をお書きください。

選択式の場合は、該当する番号を回答欄にお書きください。

主催団体	所在： _____ 市 町 区
	団体名： _____ 1. 市町（行政） 2. 国際交流協会（財団を含む） 3. NPO法人 4. 民間団体・ボランティアグループ 回答： _____
教室の開催日 ※複数の場合は列挙して 下さい	_____ 曜日 _____ 時 ~ _____ 時 _____ 回/1ヶ月
学習者	_____ 人
学習者の国籍・出身	学習者の属性 配偶者、技能実習生、技・人・国、特定技能、家族滞在、永住者、など
※人数の多い順に、国籍・出身と総数におけるおおよその割合を5位までお書きください 1 _____ (約 %) 2 _____ (約 %) 3 _____ (約 %) 4 _____ (約 %) 5 _____ (約 %)	※人数の多い順に、属性と総数におけるおおよその割合を5位までお書きください 1 _____ (約 %) 2 _____ (約 %) 3 _____ (約 %) 4 _____ (約 %) 5 _____ (約 %)
レベル ※別紙参照	ゼロ _____ 人、A1 _____ 人、A2 _____ 人、B1 _____ 人、B2 以上 _____ 人
学習支援者数	総数 _____ 人 (うち日本語を母語としない人 _____ 人)
主な活動スタイル ※複数回答可	1. マンツーマン 2. グループ形式 (_____ 人程度) 3. クラス形式 回答： _____
主な活動内容 ※複数回答可	1. 文型積み上げ式 2. 対話活動中心 3. 生活場面中心 4. 生活 Can-do を活用 5. 日本語能力試験対策 6. その他： _____ 回答 _____
現在使用中の 主な教材名	

【基本情報シート（子ども支援）】

外国につながる子どもを対象とした学習支援を行っている場合のみご記入ください。

※R5年6月末現在の状況をお書きください。

選択式の場合は、該当する番号を回答欄にお書きください。

<p>教室の開催日 ※複数の場合は列挙して 下さい</p>	<p>_____曜日 _____時 ~ _____時 _____回/1ヶ月</p>	
<p>学習者</p>	<p>_____人</p>	
<p>学習者の国籍・出身</p>		<p>学習者の学年（小1～中3）</p>
<p>※人数の多い順に、国籍・出身と総数における おおよその割合を5位までお書きください</p> <p>1 _____ (約 %) 2 _____ (約 %) 3 _____ (約 %) 4 _____ (約 %) 5 _____ (約 %)</p>		<p>※人数の多い順に、学年と総数におけるおおよその 割合を5位までお書きください</p> <p>1 _____ (約 %) 2 _____ (約 %) 3 _____ (約 %) 4 _____ (約 %) 5 _____ (約 %)</p>
<p>学習支援者数</p>	<p>総数_____人（うち日本語を母語としない人 _____人）</p>	
<p>主な活動スタイル ※複数回答可</p>	<p>1. マンツーマン 2. グループ形式（_____人程度） 3. クラス形式 回答：_____</p>	
<p>主な活動内容 ※複数回答可</p>	<p>1. 文型積み上げ式 2. 対話活動中心 3. 生活場面中心 4. 生活 Can-do を活用 5. 日本語能力試験対策 6. 教科学習 7. その他：_____</p> <p style="text-align: right;">回答 _____</p>	
<p>現在使用中の 主な教材名</p>	<p>_____</p>	

HIA サイトへの掲載について

HIA の Web サイトには「日本語教室検索」のページがあります。現在の掲載内容をご確認いただき、加筆修正が必要な場合は、下表にご記入ください。

「大人向け日本語教室一覧」

<https://www.hyogo-ip.or.jp/torikumi/tabunkakyose/search/adult/index.html>

「子ども日本語教室・学習支援教室一覧」

<https://www.hyogo-ip.or.jp/torikumi/tabunkakyose/search/child/index.html>

項目	加筆修正内容

※教室情報の公開を希望された団体のみ掲載しております。新規に掲載をご希望の場合は、下記までメールあるいは電話でお問合せください。

(公財) 兵庫県国際交流協会 多文化共生課 (担当 西村)

TEL : 078-230-3261 Fax:078-230-3280

Email : nihongo@net.hyogo-ip.or.jp

【質問シート】成人の学習者を主たる対象として活動している教室について

※選択式は回答欄に番号をお書きください。自由記述欄はできるだけ詳しい情報をお願いいたします。

【問1】 貴団体の教室には、活動目標や教室のルール、ボランティア学習支援者の在り方等について書かれたものがありますか。

1. ある 2. ない

回答欄	
-----	--

貴団体の教室で大切にしていることは何ですか。そのために行っていることがあれば、お書きください。

--

【問2】 地域の日本語教室はどのような場であるとお考えですか（上位5つまで選択可）

1. 外国人住民が日常生活に必要な日本語を学ぶ場
2. 外国人住民が仕事に必要な日本語力を身につける場
3. 外国人住民が日本語能力試験合格に必要な日本語能力を獲得する場
4. 外国人住民が地域での生活マナーやルールを理解する場
5. 外国人住民の居場所
6. 外国人住民と地域社会の接点
7. 外国人住民と日本人住民の交流の場
8. 外国人住民同士の交流の場
9. 外国人住民への情報提供の場
10. 外国人住民にとっての災害時の情報拠点
11. 外国人住民にとっての生活相談・課題解決の場
12. 日本人住民の地域活動参加の機会提供の場
13. 日本人住民の多文化理解の促進の場
14. 日本人住民の居場所
15. その他

(自由記述)

回答欄					
-----	--	--	--	--	--

【問3】 令和元年度から現在までの学習者の変化について教えてください。

(1) 学習者数

1. 増加 2. 大きな変化なし 3. 減少 4. わからない

回答欄	
-----	--

(2) 学習者の人数や属性の変化について、特記すべきことがあれば、お書きください。

--

(3) 貴団体では、これまでに学習希望者を受け入れられなかったことがありますか。

1. ある 2. ない

回答欄	
-----	--

1. と回答した場合、それは、どのようなケースですか。

例) 支援者が不足していたため、待機してもらった／ゼロ初級者で対応が難しかったため、他の教室を紹介した／希望する曜日や時間帯が合わなかったため、対応できなかった など

--

【問4】 貴団体は、他の日本語教室や行政、国際交流協会、教育機関、企業等と連携や交流がありますか。

(1) 1. ある 2. ない

回答欄	
-----	--

(2) 1. と回答した場合、具体的な内容をご記入ください。(欄が足りない場合は、適宜、追加してください。)

連携や交流先	内容

【問5】 貴団体の日本語教室の活動に係る財源についてお聞きします。(複数回答可)

1. 団体の自主財源
2. 学習者からの参加費
3. 委託費
4. 補助金・助成金
5. 寄付金
- 6 その他

(自由記述)

回答欄						
-----	--	--	--	--	--	--

3. の場合、委託者名	
4 の場合、補助主体、助成主体	

【問6】 地域日本語教育コーディネーターの配置についてお聞きします。

※地域日本語教育コーディネーターの役割

日本語教育プログラムの策定・実施運営及び改善／日本語教師及び日本語学習支援者に対する指導・助言／日本語教師及び日本語学習支援者の養成・研修の企画立案／多様な機関と連携・協働し日本語学習者の学びや日本語教育を通じた社会参加を促進するための活動のデザイン

(『地域における日本語教育の在り方について(報告)』令和4年11月 文化審議会国語分科会より)

(1) 貴団体には、地域日本語教育コーディネーター、もしくは、そのような役割を担っている方がいますか。

1. 地域日本語教育コーディネーターがいる
2. 地域日本語教育コーディネーターに近い役割を担う人がいる
3. いない

回答欄	
-----	--

(2) 1、2 と回答した場合、その業務はどのような方が担当していますか。

1. 日本語教室実施主体の職員（市町、国際交流協会、NPO）で、日本語教育関連事業専従
2. 日本語教室実施主体の職員（市町、国際交流協会、NPO）で、他の業務と兼務
3. 日本語学習支援者で、コーディネーター業務に対して報酬が支払われている
4. 日本語学習支援者で、コーディネーター業務に対して報酬が支払われていない
5. その他

(自由記述)

回答欄	
-----	--

(3) その方は、下記のいずれかに該当しますか。(複数回答可)

1. 文化庁地域日本語教育コーディネーター研修修了者
2. HIA 主催コーディネーター研修受講者
3. 有資格の日本語教師*
4. 該当しない

回答欄			
-----	--	--	--

*有資格者とは、右記のいずれかを満たした方を指します。 ・大学で日本語教育を主専攻または副専攻として修了した人
・日本語教育能力検定試験に合格した人
・日本語教師養成講座 420 時間を修了した人

【問7】 貴団体の活動に、有資格の日本語教師*が関わっていますか。

(1) 1. はい 2. いいえ 3. わからない

回答欄	
-----	--

(2) 1. と回答した場合、以下のいずれか該当する欄に人数をお書きください。

1. ボランティアとして活動している

	人
--	---

2. 講師謝金を支払っている

	人
--	---

【問8】オンラインでの学習支援についてお聞きします。

(1) 貴団体では、ICTを活用したオンラインでの学習支援を行っていますか。

1. 行っている
2. 今後取り組んでみたい
3. コロナ禍で取り組んでいたが、今は対面での支援のみ
4. 今後も行いう予定はない

回答欄

(2) 3、4と回答した場合、その理由をお書きください。

【問9】成人を対象に日本語支援をするうえで、困っていることがありますか。

【問10】教室の運営で困っていることがありますか。

【問11】外国人住民への日本語学習支援に関する公的な取組として必要と思うものは何ですか。

(上位5つまで選択可)

1. 外国人住民の状況把握
2. 日本語教育に関する基本的な方針や計画の策定
3. 地域の実情に合わせた日本語教育の内容・方法の編成、実施
4. 日本語教室の設置（運営または委託）
5. 教室を運営する団体等への助成金や補助金の交付
6. 教室を運営する団体への運営サポート（広報、会場確保等）
7. 日本語教育の専門性を持つ人材（地域日本語教育コーディネーター、日本語教師等）の配置、派遣
8. 学習希望者への教室や学習方法の紹介
9. 学習支援者の養成
10. 市町内外の有益な情報やリソースの収集及び提供
11. 市町内外でのネットワーク構築
12. 企業との連携促進
13. 日本語教育機関との連携促進
14. 地域住民の理解と関心の増進
15. その他

(自由記述)

回答欄					
-----	--	--	--	--	--

【問 12】 地域日本語教育の充実に向けて提供されている下記のコンテンツや情報についてお聞きします。

① 文化庁「日本語教育コンテンツ共有システム (NEWS)」

<https://www.nihongo-ews.bunka.go.jp/>

(1) 1. 知っている 2. 知らなかった

回答欄	
-----	--

(2) 活用について

1. 既に活用している
2. 活用を検討している
3. 活用方法がわからない
4. 活用の場や機会がない

回答欄	
-----	--

② 文化庁「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながる ひろがる にほんごでの暮らし」

https://tsunagaru.jp.bunka.go.jp/assets/download/pamphlet_jp_202303.pdf

(1) 1. 知っている 2. 知らなかった

回答欄	
-----	--

(2) 活用について

1. 既に活用している
2. 活用を検討している
3. 活用方法がわからない
4. 活用の場や機会がない

回答欄	
-----	--

③ 文化庁 日本語能力自己評価ツール「にほんごチェック」

<https://www.nihongo-check.bunka.go.jp/>

(1) 1. 知っている 2. 知らなかった

回答欄	
-----	--

(2) 活用について

1. 既に活用している
2. 活用を検討している
3. 活用方法がわからない
4. 活用の場や機会がない

回答欄	
-----	--

④ HIA 「役に立つ教材・情報」

<https://www.hyogo-ip.or.jp/torikumi/tabunkakyose/kyozai/index.html>

(1) 1. 知っている 2. 知らなかった

回答欄	
-----	--

(2) 活用について

1. 既に活用している
2. 活用を検討している
3. 活用方法がわからない
4. 活用の場や機会がない

回答欄	
-----	--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

学習者のレベルについて

「日本語教育の参照枠」では、「聞く」「読む」「話す」「書く」の言語活動別に「実生活において日本語を使ってどのようなことができるかに注目してレベルを示しています。下表は日本語能力を 6 レベル (A1～C2) で示したもっとも基本的なレベル尺度です。

下表にある【参考動画】の URL をクリックすると、文化庁『つながる ひろがる にほんごでのくらし』サイト内の各レベルの短い会話例を視聴することができます。

レベル	指標	
熟達した言語使用者	C2	聞いたり、読んだりしたほぼすべてのものを容易に理解することができる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができ、非常に複雑な状況でも細かい意味の違い、区別を表現できる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。ことばを探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテキストの主要な内容を理解できる。身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。 参考動画 (レベル 3 9 - 1) https://tsunagaru.jp.bunka.go.jp/level03/c04
	B1	仕事、学校、娯楽で出合うよう身近な話題について、共通語による話し方であれば、主要点を理解できる。身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。 参考動画 (レベル 3 4 - 3) https://tsunagaru.jp.bunka.go.jp/level03/c01
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる分野表現が理解できる、簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について情報交換に応じることができる。 参考動画 (レベル 2 5 - 1) https://tsunagaru.jp.bunka.go.jp/level02/b12
	A1	具体的な欲求を満足させるため、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け舟を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。 参考動画 (レベル 1 3 - 1) https://tsunagaru.jp.bunka.go.jp/level01/a07